

問題 I

以下の問題文の空欄 (01) (02) から (15) (16) に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問 (ア) (17) (18) から (オ) (25) (26) に対する解答として最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

世界史を学んでいると、大国に翻弄される小国の姿をしばしば目にすることができる。俗に「3度の独立を果たした」と言われる中央アメリカのパナマはその典型例であろう。ヨーロッパ人が来る以前のパナマは、メキシコ高原から中央アメリカにかけて興った諸文明の総称である (01) (02) 文明、南アメリカ大陸で生じたアンデス文明のいずれから見ても辺境の地であった。1513年にパナマ地峡を横断して太平洋を「発見」した探検家 (03) (04) らの働きもあって、パナマはスペイン領となった。16世紀末、イギリス、オランダ、フランスも中央アメリカ、カリブ海地域への進出を始めたが、これらの国はいわゆる (05) (06) 船（外国船略奪を公認する特許状を与えられた海賊船まがいの民間の武装船）にスペインの船や商館を襲わせ、中央アメリカ、カリブ海地域のスペイン領を徐々に占領していった。ベリーズや ジャマイカはイギリス領となり、^(ア) エスパニョラ島の西側約3分の1はフランス領サン＝ドマング（1804年に (07) (08) 共和国として独立）となった。パナマも、イギリス人として初めて世界周航を成功させ、スペインの無敵艦隊との戦いでは副司令官として活躍した (09) (10) の襲撃を受けたが、かろうじてスペイン領下に留まっていた。

19世紀初頭、ナポレオン軍の侵攻を契機とするスペインの混乱に乗じて、多くのラテンアメリカ諸国が独立へと向かった。^(イ) この機にパナマも大コロンビア共和国の一部としてスペインから独立したが、これがパナマにとっての最初の独立となった。大コロンビア共和国がエクアドルと (11) (12) の離脱で瓦解した後、パナマはヌエバ＝グラナダ共和国（後のコロンビア共和国）に属した。19世紀後半、アメリカにおけるスペインの影響力が著しく後退するなかで、^(ウ) 二つの大洋を結ぶ運河をパナマに作ろうという野心が欧米諸国で高まった。フランス人レセブスによる試みが挫折した後、これを継承したアメリカ合衆国は、運河建設を容易には認めようとしないコロンビアに業を煮やし、以前から反乱の機を窺っていたパナマの独立派を強力に支援した。その結果、1903年、パナマはコロンビアから独立した。^(エ) パナマの2回目の独立である。

20世紀になると、中央アメリカ、カリブ海地域は再三アメリカ合衆国の政治的・軍事的干渉を受けるようになる。なかでも、独立と引き換えに運河地帯の主権をアメリカ合衆国に譲ってしまったパナマは、細長い国土のほぼ中央部を寸断されるようにアメリカ合衆国に「占領」され続ける国となった。1914年に運河は完成するが、以後、運河の返還と属国的立場の解消を求めて、パナマでは反米意識が高まった。これを受けて、1977年、アメリカ合衆国のカーター政権はパナマ政府と新パナマ運河条約を締結し、23年後の運河返還を約束した。1980年代に入ると、パナマ政治の実権を掌握したノリエガ将軍が露骨に反米的態度を示したが、ブッシュ政権の軍事侵攻を受け、ノリエガは逮捕された。^(オ) 新生パナマ政府は国を混乱させた軍の存在を忌み、1994年、軍の不保持を憲法に定めた。軍や戦力の不保持、あるいは戦争放棄などを謳った平和憲法としては、1949年公布の隣国コスタリカの憲法、(13) (14) 年公布の日本国憲法が有名であるが、20世紀末になって新たにパナマ憲法もその仲間入りをしたのである。とはいえ、パナマが軍の不保持をなしえたのは、1948年に結成され、加盟国が侵略を受けた場合には共同して防衛すべきことを定めたアメリカ諸国の協力組織である (15) (16) の、ひいてはアメリカ合衆国の軍事力を頼ってのことである。そして、1999年12月31日、運河はパナマに返還された。「占領」から解放されたパナマは、こうして3度目の「独立」を果たしたのである。

設問

- (ア) イギリス人により多くのアフリカ人奴隷が連れてこられたジャマイカでは、1930年、アフリカ帰還を唱えるラスタファリ運動が生じた。この運動が救世主と仰いだのは、同年に即位したエチオピアの皇帝であった。1974年の軍部のクーデタで退位させられ、結局エチオピア最後の皇帝となったこの人物は誰か。 (17) (18)
- (イ) このときのスペイン民衆の様子を描いた作品「1808年5月3日」で有名な画家は誰か。 (19) (20)
- (ウ) 1898年の米西戦争での敗北後、スペインはアメリカに有していた植民地を全て失うこととなるが、時期を同じくして他の地域でもスペインは領土を次々と失っていた。1899年にオセアニアのカロリン諸島や、グアムを除くマリアナ諸島をスペインから買収した国はどこか。 (21) (22)
- (エ) パナマがコロンビアから独立した当時のアメリカ合衆国大統領による対カリブ海外交政策を何と呼ぶか。 (23) (24) 外交
- (オ) それまでもアメリカ合衆国は中央アメリカやカリブ海諸国の反米政権をしばしば転覆させている。1951年に発足し、共産党の支援を受けて土地改革や労働立法を行ったものの、CIA（アメリカ中央情報局）が支援した反革命によって1954年に倒された左翼政権は、どこの国の政権であったか。 (25) (26)

〔語群〕

- | | | | |
|--------------|--------------|-------------|-----------|
| 01. 1946 | 02. 1947 | 03. 1948 | 04. 1950 |
| 05. 1951 | 06. AFL | 07. ANC | 08. ARF |
| 09. OAS | 10. OAU | 11. アメリカ合衆国 | 12. イギリス |
| 13. エルサルバドル | 14. オーストラリア | 15. オルメカ | 16. カブラル |
| 17. カボット | 18. カラック | 19. ガレオン | 20. 亀甲 |
| 21. グアテマラ | 22. クック | 23. グラナダ | 24. グレナダ |
| 25. ゴーガン | 26. ゴッホ | 27. ゴヤ | 28. コロンブス |
| 29. 棍棒 | 30. サモリ＝トゥーレ | 31. 私拿捕 | 32. 人権 |
| 33. セク＝トゥーレ | 34. 宣教師 | 35. 善隣 | 36. チリ |
| 37. テオティワカン | 38. ドイツ | 39. ドミニカ | 40. ドル |
| 41. トルテカ | 42. ドレーク | 43. ニカラグア | 44. ハイチ |
| 45. ハイレ＝セラシエ | 46. バハマ | 47. パラグアイ | 48. バルボア |
| 49. フランス | 50. ベネズエラ | 51. ベラスケス | 52. ベルー |
| 53. ホーキングズ | 54. ボリビア | 55. マゼラン | 56. マヤ |
| 57. メソアメリカ | 58. メネリク2世 | 59. メフメト2世 | 60. ローリ |

問題 II

以下の問題文の空欄 (27) (28) から (43) (44) に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問 (ア) (45) (46) から (ウ) (49) (50) に対する解答として最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

インド洋交易圏は、紅海、アラビア海、インド洋沿岸から、スマトラ島、マレー半島、インドシナ半島を経て中国南部にいたる交易圏である。インド洋交易圏は通商のみならず、宗教・文化の伝播や政治権力の盛衰と密接に関係していた。

1世紀頃からインド洋で盛んになった季節風貿易は、インド洋交易の端緒となった。当初は、(27) (28) 系商人がその主たる担い手であった。たとえば、アラビア海からインド洋にいたる航海案内書である『エリュトゥラー海案内記』には、当時の様子が描写されている。同時代、デカン高原を支配した (29) (30) 朝は、ローマ世界との海上交易で栄えたことで知られている。

8世紀頃からは、ダウ船を用いたムスリム商人がインド洋交易の中心となった。アッバース朝はペルシア湾～アラビア海～インド洋の海上交易を独占した。ペルシア湾岸最深部の (31) (32) は交易ネットワークの重要な拠点であった。しかし、10世紀半ば以降、イスラーム世界は変動の時期を迎えた。主たる交易ルートは、紅海～イエメン～インド洋経由へと移行した。イスラーム世界の文化的・経済的中心が、バグダードからミスルである (33) (34) へと移動したためである。

インド洋の東方に位置する 南シナ海交易圏 は、南シナ海を介して行われた中国・東南アジアとインド洋地域を結ぶ交易圏である。なかでも、マラッカ海峡は、歴史的に、中国とインドを結ぶ海路の要所であった。インドを訪れた唐僧のうち、往路復路とも海路を利用した (35) (36) は、帰路シュリーヴィジャヤで旅行記を著した。南シナ海交易圏では港市国家が各地に成立していたが、シュリーヴィジャヤはそのうちの一つであった。10世紀頃、中国人がジャンク船を駆使して東アジアの海洋交易に参加するようになると、インド洋交易圏は東アジアの交易圏と結びつくことになった。

インド洋交易はムスリム商人とイスラーム王朝によって牛耳られていた。しかし、16世紀初頭には、西からの新しい勢力と対峙することになる。先駆者であるポルトガルは、1509年、インド西海岸のディウ沖の戦いで、(37) (38) 朝の艦隊を撃破した。その後、インド総督の (39) (40) は、ゴア、マラッカを占領し、アジア地域での植民活動の拠点作りに尽力した。特に、マラッカを拠点に香料諸島、中国、日本との交易に着手した。

17世紀になると、オランダ、イギリス、フランスも、それぞれ東インド会社を設立し、インド洋交易圏へ乗り出してきた。香料貿易がねらいであった。後発勢力は競合する。1623年には (41) (42) 事件が発生し、これによりイギリスはインド方面への進出に専念することになった。インドに退いたイギリスは、17世紀半ばから、南インドのマドラス、西インドのボンベイ、東インドのカルカッタに商館を設置し、貿易拠点とした。これに対して、フランスは東インド会社を1664年に再建し、インド進出の拠点を作った。18世紀半ばにはデュプレクス総督が勢力を拡大していたが、南インド東岸地帯での3次にわたる (43) (44) 戦争でイギリスに敗北した。これによって、インドの支配権はイギリスに大きく傾いた。こうして 19世紀になると、インド洋交易圏はイギリスによって独占されるようになった。

設問

(ア) ジャワ島にはインド文明の影響を強く受けた王朝が多数ある。インド叙事詩の『マハーバーラタ』をジャワ語に翻訳するなど、独自の文化を創造した王朝は何か。 (45) (46) 朝

(イ) その後、イギリスがマラッカを支配することとなったが、その契機となった戦争は何か。 (47) (48) 戦争

(ウ) 19世紀、イギリスがインドから持ち込んだ結果、それまでの東南アジア地域の交易ネットワークを圧倒することになった主要な物品は何か。 (49) (50)

〔語群〕

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| 01. アチェ | 02. アッパース | 03. アデン |
| 04. アヘン | 05. アメリゴ＝ヴェスプッチ | 06. アルブケルケ |
| 07. アルメイダ | 08. アレクサンドリア | 09. アンボイナ |
| 10. ヴァスコ＝ダ＝ガマ | 11. 慧遠 | 12. オーストリア継承 |
| 13. カイラワーン | 14. カーナティック | 15. 義浄 |
| 16. ギリシア | 17. 金 | 18. 銀 |
| 19. クシャーナ | 20. クディリ | 21. クーフア |
| 22. ゲルマン | 23. 玄奘 | 24. 紅茶 |
| 25. コーヒー | 26. サータヴァーハナ | 27. サファヴィー |
| 28. シク | 29. 七年 | 30. ジッダ |
| 31. シャイレンドラ | 32. シーラーフ | 33. シンガサリ |
| 34. シンガポール | 35. 錫 | 36. スペイン継承 |
| 37. ソグド | 38. 中国 | 39. ティムール |
| 40. 鄭和 | 41. ナポレオン | 42. バクトリア |
| 43. バスラ | 44. バタヴィア | 45. バルトロメウ＝ディアス |
| 46. バンテン | 47. フェルツ継承 | 48. フスタート |
| 49. 法顕 | 50. マイソール | 51. マウリヤ |
| 52. マジャパヒト | 53. マスカット | 54. マタラム |
| 55. マニラ | 56. マムルーク | 57. マラーター |
| 58. ムガル | 59. モンゴル | |

問題Ⅲ

以下の問題文の空欄 (51) (52) から (69) (70) に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問 (ア) (71) (72) から (ウ) (75) (76) に対する解答として最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

中国の歴史は、さまざまな勢力が黄河、長江、珠江という三大河川の流域を拠点にして、分裂と統一を繰り返してきた。

中国最古の新石器文化とされる仰韶文化は黄河中流域に存在した。他方、近年、長江流域においても、四川省で (51) (52) 遺跡が発見された。これは、この地域が殷と交流を保ちつつも、独自の青銅器文化を築き上げたことを物語っている。

春秋・戦国時代には、長江中流域を楚が支配した。楚の王族で詩人でもある (53) (54) らの辞賦を集めた『楚辞』からは、楚が黄河流域の諸国とは異なる独特の風俗と言語を有していたことが読み取れる。黄河流域の咸陽に都を定め、全国統一を図った秦は、現在の広東省に (55) (56) 郡を設置し、珠江流域にも勢力を伸ばした。次いで、やはり黄河流域に都を置く漢が統一王朝を興した。後漢末期には、長江の下流域を勢力基盤とする孫権が、後に蜀の皇帝となる劉備と連合し、黄河流域から攻め込んできた曹操の軍勢を長江中流域の (57) (58) で撃退した。

以後、隋による全国統一までの3世紀半あまりは分裂と戦争の時代が続いた。この間、呉を滅ぼして晋が一時全国統一を実現させたが、(59) (60) の乱で匈奴に滅ぼされ、晋の一族は江南に逃れ、東晋を建国した。その後、黄河流域を支配した北朝と、長江流域、珠江流域に拠る南朝とが、それぞれ中華帝国の正統であることを主張し、対立した。南北での対立が固定化された後に、南朝では六朝文化が開いた。

(ア) 南北に分裂していた中国を統一したのは、南朝の陳を倒した隋であった。続く唐も、都を黄河流域の長安に定め、長安はアジア諸地域の人々が訪れる国際色豊かな都市となった。海路で唐を訪れる商人も増え、玄宗の時代には海上貿易全般の管理を行う役所として、珠江下流の港町広州に初の (61) (62) を設置した。唐の滅亡後、宋が南北に分裂した中国を統一したが、黄河流域の都開封を金に占領された。宋の一族は江南に逃れて南宋を建てた。武将 (63) (64) は金への徹底抗戦を主張したが、最終的に和議が成立し、淮河と秦嶺山脈を結ぶ線が南宋と金の境界とされた。

中国を統一した元王朝の末期に紅巾の乱が勃発した。次第に乱の指導権を掌握した朱元璋が長江下流域の穀倉地帯(イ)をおさえ、1368年に南京で即位して明を建国した。明軍は北上し、大都にある元の皇室をモンゴル高原に追い戻した。明は中国史上唯一、江南から発展して全国統一に成功した王朝である。建文帝のとき、黄河流域の防備にあたっていた燕王が反乱を起こして南京を攻略した。その後燕王は、北平を北京と改称して遷都し、永楽帝として即位した。かつて宋の時代には、中国における稲作農業の中心は長江下流域にあったが、明の時代には長江中流域での米の生産が上回り、「(65) (66) 熟すれば天下足る」と言われた。清の時代には、中国近代史上最大の民衆反乱として知られる太平天国の乱が、珠江流域の広西省で始まった。北上した太平天国軍は南京を占領して首都とし、さらに北京、天津に迫り、清朝の支配を揺るがした。

皇帝による支配体制の打倒を目指す辛亥革命の発端は、長江中流域に面する武昌での新軍の蜂起であった。天地会の一派といわれた秘密結社で、「反清復明」を唱えて長江中流域で広がった (67) (68) も、孫文と組んで大きな役割を果たした。1912年1月1日、孫文が南京で中華民国の建国を宣言した。しかし、袁世凱の死から北伐の完成まで、北京政府では軍閥が争っていた。それゆえ、国家の統一と独立を課題とした国民革命は、第1次国共合作に託された。

1925年7月、中華民国国民政府が広州で成立し、国民革命の勢力が珠江流域に集結して、北京の軍閥政府と対立した。北伐戦争では、蒋介石が校長、周恩来が政治部主任を務めた (69) (70) 軍官学校の卒業生が、軍事的・政治的指導者として活躍した。北伐の途中で国民党と袂を分かった共産党は、長征を経て延安に根拠地を移した。西安事件を契機に両党は再び協力して抗日戦争を戦ったが、戦後は国共内戦へと突入した。共産党は長江以北の大都市を徐々に制圧し、1949年4月には南京を占領した。同年10月1日、毛沢東が北京の天安門で中華人民共和国の成立を宣言した。

設問

(ア) 『山居賦』などの名作で知られる六朝の宋の詩人は誰か。 (71) (72)

(イ) 元の時代に元曲と呼ばれる古典演劇が完成した。匈奴に嫁がされた王昭君の悲劇を劇化したその代表的な作品は何か。『 (73) (74) 』

(ウ) 1935年1月、長征の途中で、毛沢東が党内の指導権をモスクワ留学派から奪回した会議があった。その会議が開かれた場所はどこか。 (75) (76)

〔語群〕

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 01. 安史 | 02. 永嘉 | 03. 王安石 | 04. 王羲之 |
| 05. 王仙芝 | 06. 欧陽脩 | 07. 岳飛 | 08. 華興会 |
| 09. 河姆渡 | 10. 哥老会 | 11. 漢宮秋 | 12. 居留地 |
| 13. 屈原 | 14. 建業 | 15. 公行 | 16. 黄巢 |
| 17. 江浙 | 18. 公孫竜 | 19. 興中会 | 20. 光復会 |
| 21. 黄埔 | 22. 紅樓夢 | 23. 呉起鎮 | 24. 湖広 |
| 25. 五丈原 | 26. 湖田 | 27. 虎門寨 | 28. 三星堆 |
| 29. 市舶司 | 30. 司馬光 | 31. 謝靈運 | 32. 遵義 |
| 33. 秦檜 | 34. 新界 | 35. 瑞金 | 36. 井崗山 |
| 37. 西廂記 | 38. 成都 | 39. 青蓮崗 | 40. 赤眉 |
| 41. 赤壁 | 42. 節度使 | 43. 蘇湖 | 44. 蘇秦 |
| 45. 張儀 | 46. 陶潜 | 47. 都察院 | 48. 敦煌 |
| 49. 南越 | 50. 南海 | 51. 日南 | 52. 八王 |
| 53. 琵琶記 | 54. 平城 | 55. 望厦 | 56. 牡丹亭還魂記 |
| 57. 楽浪 | 58. 李斯 | 59. 良渚 | 60. 酈道元 |

問題 IV

以下の問題文の空欄 (77) (78) から (87) (88) に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問 (ア) (89) (90) から (カ) (99) (100) に対する解答として最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

1815年6月、ワーテルローの戦いでナポレオン軍が敗退したことにより、フランス革命勃発に始まったヨーロッパ国際情勢の混乱が収束し、新しい秩序が構築されることになった。

1814年から1815年にかけて、オーストリア帝国の首都ウィーンで、戦後処理のための大規模な外交会議が開催された。この ウィーン会議では、オーストリア外相のメッテルニヒが中心となって、正統主義の基本原則の下に、正統な血統を有する君主の支配によって戦後秩序を形成しようと試みた。また、トラファルガーの海戦でフランスを破り、世界大(イ)国としての地位を手にしたイギリスは、会議体制としての平和の確立に尽力した。これらの外交によって戦後処理に関する合意がみられ、それはウィーン体制として19世紀前半の平和の基礎となった。

ウィーン体制下では、オーストリアのメッテルニヒやロシアのアレクサンドル1世に示されるような保守主義的な理念がその基礎となっていた。ところが、次第にヨーロッパ大陸で、自由主義や国民主義を求める運動が見られるようになる。ドイツの自由と統一を求めて結成された学生運動は、1819年にメッテルニヒが進めた (77) (78) 決議によって抑圧されることになる。1820年、ブルボン王朝の支配に対して、カルボナリが (79) (80) で武装蜂起するが、翌年にはオーストリア軍により鎮圧される。1830年7月にはパリで革命が起こって、自由主義者として知られるオルレアン公ルイ＝フィリップによる統治が始まる。また ベルギー独立をめぐるヨーロッパ大陸で戦争勃発の(ウ)危機が生じたが、イギリスの巧みな外交により平和が維持されることになった。

ヨーロッパ大陸の東方では、広大な領域を支配していたオスマン帝国(トルコ)が勢力を弱めた結果、国際関係が不安定化していった。1853年、オスマン帝国領内の聖地管理権をフランスが要求すると、ロシアはオスマン帝国領内の (81) (82) の保護を名目にトルコと開戦した。東地中海でのロシアの勢力拡張を嫌うイギリスとフランスは、トルコと手を組んでロシアとの戦争を開始した。これはナポレオン戦争以来の大規模な戦争となり、多大な死傷者が出た。1856年にはパリ条約が結ばれて (83) (84) の中立化が合意され、イギリスとフランスはロシアの南下政策を阻止することに成功した。

1862年にビスマルクがプロイセンの首相となると、軍事力を背景とした積極的な対外政策によって、ドイツ統一を目指すようになった。1864年にはオーストリアとともにデンマークと戦い、 (85) (86) を奪取した。さらには1866年にこの地方の帰属をめぐるオーストリアと戦い、これに勝利した結果、プロイセンを盟主とする北ドイツ連邦を成立させた。プロイセンの強大化を恐れるフランスのナポレオン3世は、1870年にプロイセンに宣戦布告し、両国間で戦争が始まった。結果はプロイセンが勝利して、1871年にヴィルヘルム1世が初代皇帝となり、 (87) (88) 宮殿においてドイツ帝国の建国が宣言された。これによりヨーロッパ大陸の中央に強大な帝国が誕生した。ヨーロッパの国際関係はこの後、ドイツ帝国宰相ビスマルクを中心に展開していく。

1873年、フランスの復讐を恐れるビスマルクは、フランスを孤立化させてドイツの安全を得るために、オーストリア、ロシアとの間に三帝同盟を結んだ。1877年に東方問題をめぐってロシアとトルコの間で戦争が起き、1878年にはロシアが勝利して、サン＝ステファノ条約が締結された。同条約によりロシアは自らの影響下にある大ブルガリアを成立させようとし、これに反対するオーストリアやイギリスとの間で緊張が高まった。そこで、ビスマルクは戦争を回避す(エ)るためにベルリンで会議を開催した。この会議においてビスマルクは、ヨーロッパ大陸の国際関係の安定に向けて巧みな外交を行った。

1888年に若きヴィルヘルム 2 世がドイツ帝国皇帝に即位することによって、ヨーロッパの平和と安定が崩れていく。ヴィルヘルム 2 世と対立したビスマルクが1890年に宰相を辞任すると、その後ドイツは「世界政策」として積極的な対外進出を図り、海軍力を大規模に拡張していく。1894年にフランスはロシアと露仏同盟を結び、1904年にはイギリスと英仏協商を結ぶ。イギリス、フランス、ロシアの三国協商国と対立を深めていくドイツは、1914年のサラエヴォ^(め)事件を契機として第一次世界大戦へと突入していった。

設問

- (ア) このワーテルローの戦いで、イギリス陸軍の司令官として活躍した人物は誰か。 (89) (90)
- (イ) この会議の結果、イギリスが領有した地中海の島はどこか。 (91) (92) 島
- (ウ) 1829年にはギリシアの独立が達成されたが、その目的達成のために自ら参戦して独立実現を強く求めたイギリスの詩人は誰か。 (93) (94)
- (エ) この条約によって独立国となり、パン＝スラブ主義の中心となったのはどこか。 (95) (96)
- (オ) この会議でビスマルクとともに中心的な役割を担ったイギリス保守党の首相は誰か。 (97) (98)
- (カ) 英仏協商によって、フランスがモロッコで支配的地位を確立するかわりに、イギリスが支配を固めたのはどこか。 (99) (100)

〔語群〕

- | | | |
|---------------------|-------------------|--------------|
| 01. アフガニスタン | 02. アルザス・ロレーヌ | 03. アルバニア |
| 04. イエナ | 05. ヴァルトブルク | 06. ヴァルミー |
| 07. ヴェネツィア | 08. ウェリントン | 09. ヴェルサイユ |
| 10. エジプト | 11. エマーソン | 12. エリゼ |
| 13. カスピ海 | 14. カトリック教徒 | 15. カニング |
| 16. カールスバート | 17. キプロス | 18. ギリシア正教徒 |
| 19. クライヴ | 20. グラッドストン | 21. 黒海 |
| 22. サンスーシ | 23. ジェノヴァ | 24. シュレジェン |
| 25. シュレスヴィヒ・ホルシュタイン | 26. スロヴァキア | 27. セイロン |
| 28. セシル＝ローズ | 29. セルビア | 30. ダービー |
| 31. チェンバレン | 32. 地中海 | 33. チベット |
| 34. ディズレーリ | 35. ドラクロワ | 36. ナポリ |
| 37. ネルソン | 38. バイロン | 39. ハノーヴァー |
| 40. バルト海 | 41. バンヤン | 42. ピエモンテ |
| 43. ピット | 44. フランクフルト | 45. ブランデンブルク |
| 46. ブルシェンシャフト | 47. プロテスタント | 48. ペルシア |
| 49. ホーエンツォレルン | 50. ボスニア・ヘルツェゴヴィナ | 51. 北海 |
| 52. マジョルカ | 53. マルタ | 54. 南アフリカ |
| 55. ミノルカ | 56. ミルトン | 57. ムスリム |
| 58. モルダヴィア・ワラキア | 59. ユダヤ教徒 | 60. リビア |
| 61. ルーブル | 62. ルーマニア | 63. ロードেশ |